



## サーバー ライセンスの管理

- [ライセンス \(1 ページ\)](#)
- [C ダイレクト ラックのライセンスのサポート \(2 ページ\)](#)
- [ファブリック インターコネクットのホスト ID の入手方法 \(4 ページ\)](#)
- [ライセンスの取得 \(5 ページ\)](#)
- [ローカル ファイル システムからファブリック インターコネクットへのライセンスのダウンロード \(6 ページ\)](#)
- [リモート ロケーションからファブリック インターコネクットへのライセンスのダウンロード \(7 ページ\)](#)
- [ライセンスのインストール \(8 ページ\)](#)
- [ファブリック インターコネクットにインストールされているライセンスの表示 \(9 ページ\)](#)
- [ポートまたは機能に使用できる猶予期間の決定 \(9 ページ\)](#)
- [ライセンスの失効日の決定 \(10 ページ\)](#)
- [ライセンスのアンインストール \(10 ページ\)](#)

## ライセンス

各 Cisco UCS 6324 Fabric Interconnect にはポート ライセンスが付属します。このライセンスは工場ですべてインストールされ、ハードウェアと共に出荷されます。C ダイレクトポート ライセンスは猶予期間にプレインストールされ、ポートの初回の使用から開始され、Cisco UCS ラックサーバで使用できます。複数のポートが猶予期間内で動作している場合、ライセンスは猶予期間の終了が最も近いポートに移動されます。

### 猶予期間

ライセンスがインストールされていないポートを使用しようとする、Cisco UCS は 120 日間の猶予期間を開始します。猶予期間は、最初にライセンスなしでポートを使用した時点から測定され、有効なライセンスファイルがインストールされると一時停止されます。猶予期間中に使用された時間数はシステムに保存されます。



- (注) 各物理ポートには固有の猶予期間があります。1つのポートで猶予期間を開始しても、すべてのポートの猶予期間が開始するわけではありません。

ライセンスされているポートの設定を解除すると、そのライセンスは、猶予期間内で機能しているポートに移行されます。複数のポートが猶予期間内で動作している場合、ライセンスは猶予期間の終了が最も近いポートに移動されます。

#### ハイ アベイラビリティ コンフィギュレーション

フェールオーバー中の不整合を避けるため、クラスタ内の両方のファブリック インターコネクต์に同数のライセンスされたポートを用意することを推奨します。均衡が保たれていない状態でフェールオーバーが発生すると、Cisco UCS は欠けているライセンスを有効化して、フェールオーバー ノードで使用される各ポートに対して猶予期間を開始します。

## C ダイレクト ラックのライセンスのサポート

### リリース 4.1(1a) 以降

リリース 4.1(1a) 以降の Cisco UCS 64108 ファブリック インターコネクต์では、ポート 1 ~ 96 の C ダイレクト ポート ライセンスについて ETH\_C\_PORT\_ACTIVATION\_PKG 機能パックを使用します。ファブリック インターコネクต์には、ETH\_C\_PORT\_ACTIVATION\_PKG ライセンスはデフォルトでは付属していません。必要に応じてこれらのライセンスを購入してください。

C ダイレクト サポートは、ラック サーバーに接続されたポートにのみ適用可能です。

ETH\_C\_PORT\_ACTIVATION\_PKG は、既存のライセンス パッケージに、すべてのプロパティが既存のライセンス機能と同じように設定された状態で追加されます。[Subordinate Quantity] プロパティは、ラック サーバーに接続されたポートを追跡するために、ETH\_C\_PORT\_ACTIVATION\_PKG に追加されます。

Cisco UCS Manager GUI の [License] タブに、新しいライセンスとそのライセンスの [Subordinate Quantity] が表示されます。scope license の下で show feature コマンドおよび show usage コマンドを使用して、ライセンス機能、ベンダー バージョン タイプ、各ライセンスの猶予期間を表示することもできます。

### リリース 4.0(1a) 以降

リリース 4.0(1a) 以降の Cisco UCS 6454 ファブリック インターコネクต์では、ポート 1 ~ 48 の C ダイレクト ポート ライセンスについて ETH\_C\_PORT\_ACTIVATION\_PKG 機能パックを使用します。ファブリック インターコネクต์には、ETH\_C\_PORT\_ACTIVATION\_PKG ライセンスはデフォルトでは付属していません。必要に応じてこれらのライセンスを購入してください。

C ダイレクト サポートは、ラック サーバーに接続されたポートにのみ適用可能です。

ETH\_C\_PORT\_ACTIVATION\_PKG は、既存のライセンス パッケージに、すべてのプロパティ

が既存のライセンス機能と同じように設定された状態で追加されます。[Subordinate Quantity] プロパティは、ラック サーバーに接続されたポートを追跡するために、ETH\_PORT\_ACTIVATION\_PKG に追加されます。

Cisco UCS Manager GUI の [License] タブに、新しいライセンスとそのライセンスの [Subordinate Quantity] が表示されます。 **scope license** の下で **show feature** コマンドおよび **show usage** コマンドを使用して、ライセンス機能、ベンダー バージョン タイプ、各ライセンスの猶予期間を表示することもできます。

### リリース 3.2(3a) 以前

各 Cisco UCS ファブリック インターコネクトは、デフォルトの数のポート ライセンスが工場 で付与され、ハードウェアと一緒に出荷されます。C ダイレクトサポートは、ラック サーバーに接続されたポートにのみ適用可能です。10G\_C\_PORT\_ACTIVATION\_PKG および 40G\_ETH\_C\_PORT\_ACTIVATION\_PKG は、既存のライセンス機能と同じプロパティがすべて 設定された既存のライセンスパッケージに追加されます。[Subordinate Quantity] プロパティは、ラック サーバーに接続されたポートを追跡するために、10G\_PORT\_ACTIVATION\_PKG および 40G\_ETH\_PORT\_ACTIVATION\_PKG に追加されます。

Cisco UCS Manager GUI の [License] タブに、新しいライセンスとそのライセンスの [Subordinate Quantity] が表示されます。 **scope license** の下で **show feature** コマンドおよび **show usage** コマンドを使用して、ライセンス機能、ベンダー バージョン タイプ、各ライセンスの猶予期間を表示することもできます。

ラック サーバーに接続されたポートは、ライセンスが使用可能であるか、またはライセンスが 使用中でない場合に、既存の 10G\_PORT\_ACTIVATION\_PKG および 40G\_ETH\_PORT\_ACTIVATION\_PKG を使用できます。それ以外の場合は、 10G\_C\_PORT\_ACTIVATION\_PKG および 40G\_ETH\_C\_PORT\_ACTIVATION\_PKG を購入して ライセンスの猶予期間を無効にする必要があります。

10 GB ポートでの変更はありません。10G\_PORT\_ACTIVATION\_PKG および 10G\_C\_PORT\_ACTIVATION\_PKG ライセンスパッケージには、ETH\_PORT\_ACTIVATION\_PKG および ETH\_PORT\_C\_ACTIVATION\_PKG ライセンス機能と同じプロパティがすべて含まれて います。

### 設定と制約事項

- C ダイレクト ラック ライセンス機能は、CIMC ポートではなく、FI に直接接続され たラック サーバー ポートを構成します。10G\_C\_PORT\_ACTIVATION\_PKG および 40G\_ETH\_C\_PORT\_ACTIVATION\_PKG のデフォルトの数量は常に 0 です。
- 40 GB ポートまたは 40 GB ブレークアウト ポート配下のブレークアウト ポートが接 続なしで有効な場合、このポートには 40G\_ETH\_PORT\_ACTIVATION\_PKG (使用可 可能な場合) に基づいてライセンスが割り当てられます。このポートがタイムラグの後 にダイレクト コネクト ラック サーバーに接続されると、ライセンスの完全な再割 り当てがトリガーされ、このポートは、次のライセンス割り当てシナリオのいずれかで 処理されます。

40 GB ブレークアウト ポート配下のブレークアウト ポートが有効で、そのポートが ダイレクト コネクト ラック サーバーに接続され、40G\_C\_PORT\_ACTIVATION\_PKG

ライセンス ファイルが FI にインストールされている場合は、次のライセンス割り当てが行われます。

- ブレークアウト ポート配下の他のポートがイネーブルでない場合は、`40G_C_PORT_ACTIVATION_PKG` に基づいて親の 40 GB ポートにライセンスが割り当てられ、このライセンスの使用済み数量が増分されます。
  - 他のポートが有効で、1 つ以上のポートがダイレクト コネクト ラック サーバーに接続されていない場合は、ポートが使用されていない場合でも、`40G_ETH_PORT_ACTIVATION_PKG` に基づいて親の 40 GB ポートにライセンスが割り当てられ、このライセンスの使用済み数量が増分されます。
- 40 GB ブレークアウト ポート配下のブレークアウト ポートが有効で、そのポートがダイレクト コネクト ラック サーバーに接続され、`40G_C_PORT_ACTIVATION_PKG` ライセンス ファイルが FI にインストールされていない場合は、次のライセンス割り当てが行われます。
- ブレークアウト ポート配下のポートがイネーブルでない場合は、`40G_ETH_PORT_ACTIVATION_PKG` に基づいて親の 40 GB ポートにライセンスが割り当てられます。ライセンスが `40G_ETH_PORT_ACTIVATION_PKG` で使用可能な場合は、下位の数量が増分されます。ライセンスが使用可能でない場合は、この機能の使用済み数量が増分され、ポート全体が猶予期間に入ります。
  - 他のポートが有効で、1 つ以上のポートがダイレクトコネクトラックサーバーに接続されていない場合は、ポートが使用されていないときでも、`40G_ETH_PORT_ACTIVATION_PKG` に基づいて親の 40 GB ポートにライセンスが割り当てられ、このライセンスの使用済み数量が増分されます。

## ファブリック インターコネクトのホスト ID の入手方法

ホスト ID はシリアル番号とも呼ばれます。

### 手順

- 
- ステップ 1** [ナビゲーション] ペインで、[機器] をクリックします。
  - ステップ 2** [機器] > [ファブリックインターコネクト] を展開します。
  - ステップ 3** ホスト ID を取得するファブリック インターコネクトのノードをクリックします。
  - ステップ 4** [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
  - ステップ 5** [Properties] 領域の [Serial Number (SN)] フィールドにホスト ID が表示されます。
-

### 次のタスク

シスコから必要なライセンスを入手します。

## ライセンスの取得



(注) このプロセスは、このマニュアルのリリース後に変更される場合があります。このマニュアルの手順が1つ以上当てはまらない場合は、シスコの担当者にライセンスファイルの入手方法をお問い合わせください。

### 始める前に

次を入手します。

- ファブリック インターコネクットのホスト ID またはシリアル番号
- ファブリック インターコネクットまたは拡張モジュールの権利証明書またはその他の購入証明書

### 手順

**ステップ 1** 権利証明書またはその他の購入証明書から、製品認証キー (PAK) を取得します。

**ステップ 2** 権利証明書またはその他の購入証明書で Web サイトの URL を確認します。

**ステップ 3** ファブリック インターコネクットの Web サイト URL にアクセスし、シリアル番号と PAK を入力します。

シスコからライセンス ファイルが電子メールで送信されます。ライセンス ファイルは、要求されたファブリック インターコネクットでの使用だけを許可するようにデジタル署名されています。Cisco UCS Manager がライセンス ファイルにアクセスすると、要求された機能も有効になります。

### 次のタスク

ファブリック インターコネクットにライセンスをインストールします。

# ローカル ファイル システムからファブリック インターコネクトへのライセンスのダウンロード



(注) クラスタ構成の場合、マッチングペアの両方のファブリックインターコネクトにライセンスをダウンロードしてインストールすることをお勧めします。個々のライセンスは、ダウンロードを開始するために使用するファブリック インターコネクトのみにダウンロードされます。

## 始める前に

シスコから必要なライセンスを入手します。

## 手順

- ステップ 1 [ナビゲーション] ペインで、[管理者] をクリックします。
- ステップ 2 [すべて] > [ライセンス管理] を展開します。
- ステップ 3 ライセンスをダウンロードするファブリック インターコネクトのノードをクリックします。
- ステップ 4 [Work] ペインの [Download Tasks] タブをクリックします。
- ステップ 5 [Download License] をクリックします。
- ステップ 6 [Download License] ダイアログボックスで、[Location of the Image File] フィールドの [Local File System] オプション ボタンをクリックします。
- ステップ 7 [Filename] フィールドに、ライセンス ファイルのフルパスと名前を入力します。  
パス名またはファイル名にスペースを含めることはできません。たとえば、`c:\Path\Folder_Name\License.lic` は有効なパスですが、`c:\Path\Folder Name\License.lic` は「Folder Name」内にスペースがあるため無効です。  
ライセンスファイルが配置されているフォルダへの正確なパスがわからない場合は、[Browse] をクリックしてファイルに移動します。
- ステップ 8 [OK] をクリックします。  
Cisco UCS Manager GUI によってファブリック インターコネクトへのライセンスのダウンロードが開始されます。
- ステップ 9 (任意) [Download Tasks] タブで、ダウンロードのステータスをモニタします。

- (注) Cisco UCS Manager によって、ブートフラッシュの領域が不足していることが報告された場合は、[パッケージ (Packages)] タブで古いバンドルを削除して、領域を解放します。ブートフラッシュの空き領域を表示するには、ファブリック インターコネク トにナビゲートし、[機器 (Equipment)] タブをクリックして、[一般 (General)] タブの [ローカル ストレージ情報 (Local Storage Information)] 領域を展開します。

**ステップ 10** 必要なライセンスがすべてファブリック インターコネク トにダウンロードされるまで、このタスクを繰り返します。

#### 次のタスク

すべてのダウンロードタスクが完了した後、ライセンスをインストールします。

## リモート ロケーションからファブリック インターコネク トへのライセンスのダウンロード



- (注) クラスタ構成の場合、マッチングペアの両方のファブリック インターコネク トにライセンスをダウンロードしてインストールすることをお勧めします。個々のライセンスは、ダウンロードを開始するために使用するファブリック インターコネク トのみにダウンロードされます。

#### 始める前に

シスコから必要なライセンスを入手します。

#### 手順

- ステップ 1** [ナビゲーション] ペインで、[管理者] をクリックします。
- ステップ 2** [すべて] > [ライセンス管理] を展開します。
- ステップ 3** ライセンスをダウンロードするファブリック インターコネク トのノードをクリックします。
- ステップ 4** [Work] ペインの [Download Tasks] タブをクリックします。
- ステップ 5** [Download License] をクリックします。
- ステップ 6** [Download License] ダイアログボックスで、[Location of the Image File] フィールドの [Remote File System] オプション ボタンをクリックします。
- ステップ 7** プロトコルを指定し、必要な情報を入力します。

パス名またはファイル名にスペースを含めることはできません。たとえば、`c:\Path\Folder_Name\License.lic` は有効なパスですが、`c:\Path\Folder Name\License.lic` は「Folder Name」内にスペースがあるため無効です。

(注) IPv4 や IPv6 アドレスではなくホスト名を使用する場合、DNS サーバを設定する必要があります。Cisco UCS ドメインが Cisco UCS Central に登録されていないか、または DNS 管理が [ローカル (local)] に設定されている場合は、Cisco UCS Manager で DNS サーバを設定します。Cisco UCS ドメインが Cisco UCS Central に登録されていて、DNS 管理が [グローバル (global)] に設定されている場合は、Cisco UCS Central で DNS サーバを設定します。

**ステップ 8** [OK] をクリックします。

Cisco UCS Manager GUI によってファブリック インターコネク トへのライセンスのダウンロードが開始されます。

**ステップ 9** (任意) [Download Tasks] タブで、ダウンロードのステータスをモニタします。

(注) Cisco UCS Manager によって、ブートフラッシュの領域が不足していることが報告された場合は、[パッケージ (Packages)] タブで古いバンドルを削除して、領域を解放します。ブートフラッシュの空き領域を表示するには、ファブリック インターコネク トにナビゲートし、[機器 (Equipment)] タブをクリックして、[一般 (General)] タブの [ローカルストレージ情報 (Local Storage Information)] 領域を展開します。

**ステップ 10** 必要なライセンスがすべてファブリック インターコネク トにダウンロードされるまで、このタスクを繰り返します。

---

### 次のタスク

すべてのダウンロードタスクが完了した後、ライセンスをインストールします。

## ライセンスのインストール

### 始める前に

シスコから必要なライセンスを入手します。

### 手順

---

**ステップ 1** [ナビゲーション] ペインで、[管理者] をクリックします。

**ステップ 2** [すべて] > [ライセンス管理] を展開します。

**ステップ 3** [Work] ペインの [Downloaded License Files] タブをクリックします。



**ステップ 4** テーブルからインストールするライセンスを選択します。

(注) 新しいポート ライセンスをインストールする場合、ダウンタイムは不要で、トラフィックへの影響はありません。

**ステップ 5** [Install License] ボタンをクリックします。

**ステップ 6** [Install License] ダイアログボックスで、[Yes] をクリックします。

Cisco UCS Manager GUIによってライセンスがインストールされ、未ライセンスのポートまたは機能がアクティブ化されます。

---

## ファブリック インターコネクต์にインストールされているライセンスの表示

### 手順

---

**ステップ 1** [ナビゲーション] ペインで、[管理者] をクリックします。

**ステップ 2** [すべて] > [ライセンス管理] を展開します。

**ステップ 3** [Work] ペインで、[Installed Licenses] タブをクリックし、ファブリック インターコネクต์にインストールされているすべてのライセンスの詳細を表示します。

**ステップ 4** 表内のライセンスをクリックし、[Contents] タブにライセンスの詳細を表示します。

ファイル内の個々のライセンスの詳細を表示するには、ライセンスファイルを展開する必要があります。

---

## ポートまたは機能に使用できる猶予期間の決定

### 手順

---

**ステップ 1** [ナビゲーション] ペインで、[管理者] をクリックします。

**ステップ 2** [すべて] > [ライセンス管理] を展開します。

**ステップ 3** [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

**ステップ 4** 動作状態、適用された猶予期間など機能の詳細を表示するには、テーブル中でその機能をクリックします。

---

## ライセンスの失効日の決定

### 手順

- 
- ステップ1 [ナビゲーション]ペインで、[管理者]をクリックします。
  - ステップ2 [すべて]>[ライセンス管理]を展開します。
  - ステップ3 [Work] ペインで [Installed Licenses] タブをクリックします。
  - ステップ4 テーブル内のライセンスをクリックして、ライセンスの詳細を下の [Contents] タブに表示します。
  - ステップ5 [Contents] タブでライセンス ファイルを展開して、ファイル内のすべてのライセンスを表示します。
  - ステップ6 [Expiry] 列でライセンスの失効日を参照します。
- 

## ライセンスのアンインストール



- 
- (注) 使用中の永続ライセンスはアンインストールできません。未使用の永久ライセンスだけをアンインストールできます。使用中の永久ライセンスの削除を試みると、その要求は Cisco UCS Manager によって拒否され、エラーメッセージが表示されます。
- 

### 始める前に

Cisco UCS Manager 設定をバックアップします。

### 手順

- 
- ステップ1 [ナビゲーション]ペインで、[管理者]をクリックします。
  - ステップ2 [すべて]>[ライセンス管理]を展開します。
  - ステップ3 [Work] ペインで [Installed Licenses] タブをクリックします。
  - ステップ4 テーブルからアンインストールするライセンスを選択します。
  - ステップ5 [Clear License] ボタンをクリックします。
  - ステップ6 確認ダイアログボックスが表示されたら、[はい]をクリックします。
- 

Cisco UCS Manager はライセンスを非アクティブ化し、ライセンスのリストからそのライセンスを削除し、ファブリックインターコネクトからライセンスを削除します。ポートは、ライセ

ンスなしモードに移行します。クラスタ構成の場合は、他のファブリックインターコネクトからもライセンスをアンインストールする必要があります。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。